

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をととして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和４年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- また、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。
- さらに、木材利用の普及啓発の一環として市立図書館において、関連図書を整備しました。

□ 事業内容

国産木材を活用した区役所庁舎整備事業

「広がる木の可能性」「心と体に優しい空間」をコンセプトに、城東区役所１階待合スペースに国産木材を利用した家具を導入し、お待ちしております。皆さんに快適にご利用いただけるように整備した。

【事業費】 21,356千円（うち譲与税21,356千円）

【実績】 ・ ３Ｐベンチ 23脚、１チェア 23脚、ベンチ 74台
 ・ カウンター 2台、プランターボックス 2台
 ・ テーブル 2台、棚 1台、パーテーション 2セット



□ 事業スキーム

公募型プロポーザル事業

□ 工夫・留意した点

- ・ 一人用いすは高齢者の方への立ち上がり補助のため、肘付き椅子とした。
- ・ 植栽を配置することで緑を感じられる癒しの空間とした。
- ・ 手に触れる場所には無垢材を、強度・硬度が必要な場所には圧縮材の木材を利用した。

□ 基礎データ

①令和４年度譲与額：310,620千円		②私有林人工林面積（※１）：0.00ha	
③林野率（※１）：0.00％	④人口（※２）：2,752,412人	⑤林業就業者数（※２）：157人	

※１：「2020農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」より